
Planning Lecture | Board and Committee | Board of Directors

[1B_PL01]Challenges of ANFURD for contributing to Fukushima recovery and 1F decommissioning

Chair:Mitsuru Uesaka(Univ. of Tokyo)

Wed. Sep 5, 2018 1:00 PM - 2:30 PM Room B (A21 -A Building)

[1B_PL0109]Open the floor for discussion

*All speakers¹

日本原子力学会の提案により、平成28年5月に関連する学協会が集い「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」（以下、ANFURD；現在、36学協会が参画）が発足した。福島復興と廃炉推進に貢献する活動の一層の効果的・効率的な実施・推進を図るため、これまで、情報交換会とワークショップを開催し、互いの活動を報告し合い、ニーズを共有し、連携活動を具体化するための議論を行った。その上で、まず取り組むべき課題として、①「放射線被ばくと健康・コミュニケーション」、②「トリチウム水の取扱い」、③「燃料デブリ取り出しにおける潜在的課題」を挙げた。これらの課題について集中的に議論し、論点を整理し、ANFURDとしての見解やどう取り組むべきかをまとめたので報告する。